

投打がっちり 光星V

春季
山形県高校野球
最終日



【決勝・弘前東一八学光星】7回表、2死満塁のピンチで最後の打者を空振り三振に仕留め、雄たけびを上げる八学光星・福山



4回裏、八学光星が死一、二塁、武岡が右越えに2点適時三塁打を放ち1-0と突き放す。捕手・齋藤

弘東、4回に痛恨6失点

光星、弘東、弘工が東北切符
山形県高校野球連盟は最終日の27日、八戸市長根公園野球場で決勝と3位決定戦を行った。決勝は八学光星が四回一挙6点を先制し、その後も弘前東の追従を許さず8-2で快勝

福山15K 攻撃に勢い 光星

【決勝】八学光星は四回、4番東の三塁打を切り、二塁、八学光星の主戦福山は、最後の打者右飛に死球。安打、機転を絡め、打者一巡の猛攻を見ては主戦福山が15奪三振、一挙6点を先制し、投げて完投勝利した。

弘前東は2得点を挙げ響いた。だが、四回の大量失点が、

「よしっ。九回2死奪った三振は15、庄巻の投球でチームに4年ぶりの栄冠をもたらした。リ

【ハイライト】
「よしっ。九回2死奪った三振は15、庄巻の投球でチームに4年ぶりの栄冠をもたらした。リ

に仕留めると押さえたラフをたいた。昨年の秋季大会で苦杯を喫した相手に完投し、最速145km/hの直球を振りつけた。

「夏まで負ける気はない。ふがない投球はも

4年ぶり12回目の優勝を決めた。3位決定戦は弘前工大好機で打線のつながりを見せ、6-2と迫いする青葉を切り切った。本県代表として八学光星、弘前東、弘前工の3校が6月7日に青森市で開催する東北大会に出場する。弘前工の出場は17年ぶり5回目。
（本紙取材班）

仲間からの声に背中を押された。「変化球でもよかったが、自信のある直球を選んだ」。空振り三振を奪い、普段はクールなエースが雄たけびを上げた。
2年時からエースとしてマウンドに立っているが、「気持ちの弱さ」を仲井監督から再三指摘されてきた。しかし今回の勝利で、少し成長を感じた。仲井監督も「エースらしい投球。攻撃にも勢いを与えてくれた」と褒めた。

【八学光星】	打安振球	打安振球	打安振球
③近藤	3	0	1
⑥武岡	3	2	1
⑦長	3	4	1
⑧東	3	4	1
⑨北下	3	3	1
⑩大	3	3	1
⑪近藤	3	3	1
⑫秋	4	3	2
⑬福	2	3	2
⑭山	1	3	2
⑮山	1	4	1
⑯併	1	4	1
⑰残	1	4	1
⑱手	0	0	0
⑲回	6	1	3
⑳投	4	3	3
㉑福	0	7	1
㉒山	1	1	2

うてきない。福山はエースの自覚をにじませた。
（高松拓輝）
○…三回までゼロに抑

主戦澤田 焦り出た
「点を取られて集りが出た。その都度冷静に（配球を考えた）」。悔やんだ。
八学光星の打線が、2巡目から工夫してきたのが分かったという。変化球を変化する前に捉えてきた。そこで対応できなかったのが敗因。

一方、八学光星の主戦福山は完投勝利。県内ナンバーワン投手だと思っている。投手スタイルは違いますが、気持ちが前